



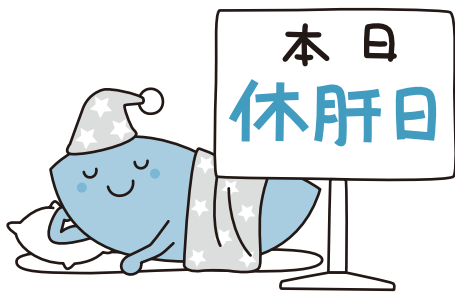
リラックスタイムを
楽しみましょう

エネルギーや脂質の
オーバーを防ごう

お酒は、酔った勢いでエネルギーオーバーになりがちなので要注意。お酒よりも、揚げ物などの「おつまみ」が、内臓脂肪の蓄積を促します。しかし、お酒には精神を高揚させて気分をよくしてくれる効果も。飲むより愉しむ、気持ち大切にしたいものです。

ビールの中びんを毎日1本飲む人が週2日飲まないようにすれば、それだけで週に400キロカロリーのエネルギーダウン。休肝日は、肝臓をいたわり、内臓脂肪の蓄積を防いで一石二鳥です。

②週に2日の休肝日をとる



空腹時のお酒は、肝臓や胃にダメージを与えます。軽く何かを食べてから飲みましょう。水をチェイスにしたり薄めて飲むとダメージ軽減、飲みすぎ・食べすぎ防止に効果あり。

④すきつ腹の1杯を避け、水とともに飲む



お酒は「適量を楽しく」で良薬に

お酒と上手に付き合う4つの習慣

①1日の適量を守る

1日の酒量の目安はビールなら中びん1本程度までと言われています。日本酒なら1合、焼酎は2/3合、ワインはグラス2杯程度、ウイスキーはダブル1杯程度です。

適量



③おつまみを賢く選ぶ

アルコールは脂肪の代謝を低下させ、太りやすくなります。揚げ物を控え、スナック菓子をつまみに飲むのはやめて、エネルギーや脂質の少ない野菜中心のメニューを選びましょう。

